

統合のご案内

2018年11月18日、連帯ユニオン・関西クラフト支部と関西ユニオンの統合大会が開催され、新たに連帯ユニオン・関西ゼネラル支部が発足しました。

組合統合の目的は、業種別職種別労働運動を推し進めることです。関西地区生コン支部を一つの手本としながら、様々な業種職種で企業横断的な組合を作っていくことを目指しています。そのために、組合組織も医療介護部会、清掃産廃部会、一般部会に分け、それぞれの業種別部会でオルグ方針を立て、春闘統一要求を行っています。

また、関西ゼネラル支部では、安倍政権の「働き方改革」に対応し、非正規労働者の権利拡大にも力を注いでいます。具体的には、派遣労働者に対する通勤費支給の裁判闘争に取り組んでいるほか、定年再雇用後の賃金引下げを許さない裁判闘争にも取り組んでいます。今年の春闘では、同一労働同一賃金ガイドラインを盾に、非正規労働者の均等待遇を求める統一要求をまとめました。そして、労使関係のある会社とこの統一要求をもとに春闘交渉を行っています。

安倍政権の推し進める「働き方改革」の中で、雇用の流動化が進み、正社員は基幹部分を除いて実質的に解体され、非正規労働が約4割を占め、さらにウーバーイーツのような個人事業主という働き方が増大しています。実質賃金は下がり続けています。口を開けて待っていても、改善は望めません。職場で仲間を集め、会社に対して要求を出し、自分たちの力で改善を実現していきましょう！ 働きやすい職場、働き甲斐のある職場、そして安心して働いていける職場を作るのは、あなた自身です！